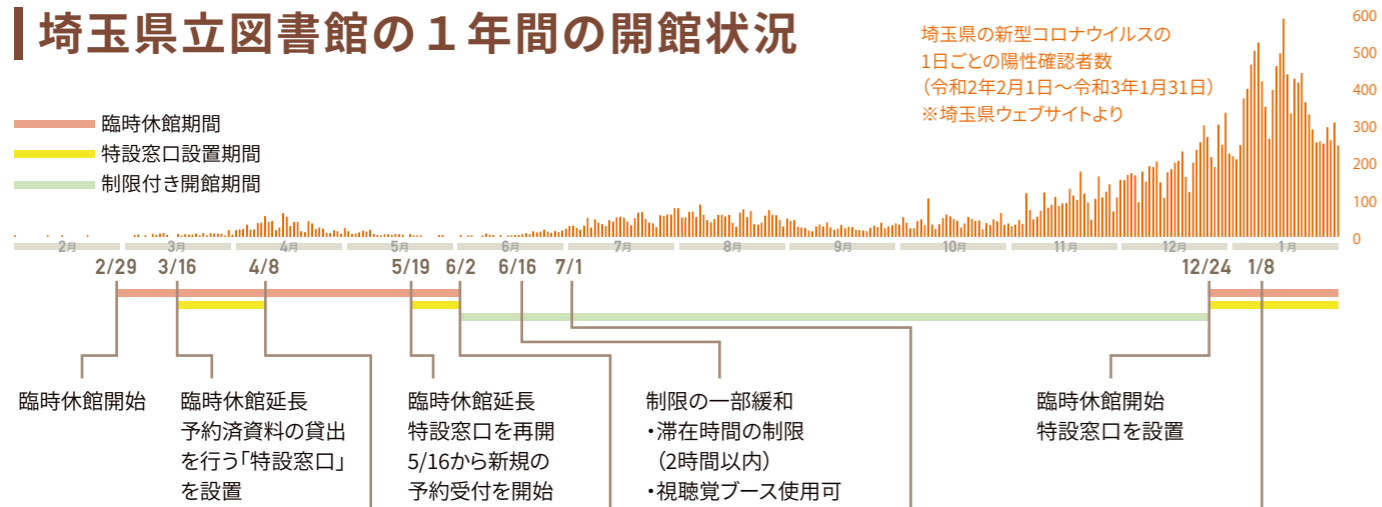


特集 新型コロナウイルスと1年

令和2年2月1日に埼玉県で初めて新型コロナウイルスの感染が確認されてから約1年。感染拡大は予想をはるかに上回り、我々の生活に多大な影響を与えています。埼玉県立図書館も臨時休館や制限付きの開館など、感染状況に応じて様々な対応を行ってまいりました。今回の特集では、例年にない年となったこの1年間を振り返ります。

埼玉県立図書館の1年間の開館状況



特設窓口や制限付き開館の様子

臨時休館中の特設窓口は、県立熊谷図書館、県立久喜図書館ともに1階エントランスに設置し(浦和分室については職員通用口を使用して入室を制限)、御用意のきた予約資料の貸出と資料返却を行いました。短時間での利用に御協力いただくため、調査・相談(レファレンス)などは特設窓口ではなく、電話やウェブサイトなどによりお申込みいただくようお願いしました。また、映画会やおはなし会などのイベントは、臨時休館中は全て中止または延期しました。

緊急事態宣言が解除されたことを受け、6月2日から、感染防止策を講じ制限付きで図書館を再開しました。感染防止策として、手指用アルコール消毒液の設置や、閲覧席の一部撤去、カウンターにビニールカーテンやパーテーションを設置、定期的な換気・消毒、掲示物にて社会的距離の確保・短時間での御利用・手指消毒などを来館された方をお願いしました。また、館内で感染が発生した場合に備え、連絡先を記載していただく「万が一の時の『連絡カード』」への記入もお願いしました。

6月16日、7月1日と段階的に制限を一部緩和し、各イベントも、7月から感染症対策を講じ再開しました。しかし、冬季に感染が急速に拡大し、12月24日から再度臨時休館となりました。



ア：特設窓口(熊) イ：臨時休館中の玄関(久) ウ：一部撤去された閲覧席(熊)
エ：パーテーションが設置されたカウンター(久) オ、カ：館内掲示物
キ「万が一の時の『連絡カード』」(熊) ※(熊) 県立熊谷図書館 (久) 県立久喜図書館

データで見る新型コロナウイルスの影響

入館者数	貸出冊数	調査・相談(レファレンス)数
平成31年2月～令和2年1月 314,473人	平成31年2月～令和2年1月 一般書 95,427冊 児童書 125,801冊	平成31年2月～令和2年1月 30,215件
令和2年2月～令和3年1月 170,240人	令和2年2月～令和3年1月 一般書 77,172冊 児童書 76,754冊	令和2年2月～令和3年1月 26,460件
45.9%減となりました。臨時休館や開館時間の制限、外出自粛の影響などにより、大きく減少してしまいました。	一般書が19.1%減、児童書が39.0%の減となりました。1人当たりの貸出冊数増により、減少幅は入館者数よりも若干少なくなりました。	12.4%減となりました。臨時休館中もウェブサイトなどにより利用できたため、減少幅は入館者数よりも少なくなりました。

※上記データは県立熊谷図書館、県立久喜図書館、浦和分室を合計したものです。

調査・相談(レファレンス)とは 皆様の調べものに役立つ資料や情報さがしを、司書がお手伝いするサービスです。図書館で利用できる様々なツールを使って御案内します。

コロナ禍で利用増加・新設したサービス

WEB予約

埼玉県立図書館のウェブサイトにて、資料を予約できるサービスです。図書館に行かなくても御自宅で、パソコンやスマートフォンなどから簡単に、資料の検索から予約まで行うことができます。以前から実施していたサービスですが、コロナ禍で利用が増加し、利用件数は41.3%増となりました。

図書、雑誌及びCD郵送サービス

※詳しくは裏面
御自宅での受け取りを希望する方や図書館に直接来館しにくい方などに、図書、雑誌及びCDを、郵送(有料)で貸し出すサービスです。メールやファックス、郵便で申し込むことができます。こちらも以前から実施していたサービスですが、コロナ禍で利用が急増し、利用件数は10.5倍になりました。また、郵送サービスに必要な図書館カードをお持ちでない方のために、カードの発行申込も郵送でできるようにしました。

新型コロナウイルスの情報提供

コロナに関する情報がまとめられているウェブサイトのリンク集やコロナ対応に役立つビジネス情報を当館ウェブサイトで公開しました。また、コロナを含めた感染症をテーマにしたミニ展示なども実施しました。

自宅で楽しめるオンライン公開

図書館や会場に行かなくても参加・楽しむことができるよう、資料展やイベント、研修会などをオンラインで公開しました。また、子ども向けに、学習・遊び・読書に役に立つウェブサイトを集めたリンク集も公開しました。



「図書館と県民のつどい埼玉2020」重松清善記念講演オンライン公開(公開は終了しました)

最後に

臨時休館や開館時間の短縮など、利用者の皆様には多大なる御不便、御迷惑をおかけしてしまい誠に申し訳ございません。この特集記事作成時(令和3年2月上旬)も、今後の予測が全くできない厳しい状況が続いております。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様の御健康を心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報に関するリンク集

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する情報がまとめられているウェブページをご紹介します。(最終更新日:2020年5月22日)

新型コロナウイルス感染症について知る

- 『厚生労働省』「[新型コロナウイルス感染症について](#)」
- 新型コロナウイルスの一般的な知識から国内の発生状況、働く方や経営者向けの情報、国の基本方針など様々な情報を発信しています。
- 『首相官邸』「[新型コロナウイルス感染症で利用ください、お役立ち情報](#)」
- 予防法や検査、医療体制などの「健康・医療情報」や雇用の不安、配偶者や恋人等からの暴力(DV)などの「生活情報」などがまとめられています。
- 『内閣府』「[新型コロナウイルス感染症対策推進室](#)」「[新型コロナウイルス感染症対策](#)」
- 国が発表した最新の情報や国内外の発生状況、予防方法や生活に困っている方への応援がまとめられています。
- 『国立国会図書館リサーチ・ナビ』「[新型コロナウイルスに関するウェブサイト](#)」

世界や日本の状況から各県ごとの情報のほか関連する隣県方面へのリンクがあり

健康・医療情報サービスとして、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報に関するリンク集」を公開しました。(現在も御覧になれます)

展示紹介

「郷土かるた」とは?

「郷土かるた」は「いろはかるた」の一種です。いろはかるたは「いろは歌」の47文字で始まることわざが書かれた牌札と、それと対をなす絵札からなる遊具で、江戸時代に庶民の間で広まったと考えられています。一方で郷土かるたには、ことわざの代わりに特定の地域の自然や文化・産業などの要素が盛り込まれています。郷土文化の学習や郷土愛を育むために教育現場などでも活用されており、埼玉県では毎年郷土かるたの大大会が開催されています。

【関連かるた】

まが玉は 過去と未来の 首飾り	まよりも 国く飛んでけし ラコバト	ケヤキの本 セミも木陰の 寝床み
ま	く	け
さくらのついでに 咲く花	清道に 生きながらえよ ムサトミヨ	
さ	せ	

臨時休館中に、資料展「いろはで発見!郷土かるたに見る埼玉名物」WEB版のページを公開しました。(現在も御覧になれます)